



世界にひとつ。 あなたにひとつ。

それぞれの願い。それぞれの夢。
お客様一人ひとりの、かけがえない想い。

JCBは約束します。
そのひとつひとつをしっかりと受けとめ、耳を傾け、かなえるお手伝いをするを。

私たちは、日本で生まれた、ただひとつの国際カードブランドとして、
「おもてなしの心」「きめ細やかな心づかい」で一人ひとりのご期待に応えていきます。
そして「便利だ」「頼れる」「持っていてよかった」と思ってもらえる、
あなたにとっての世界にひとつを目指し続けます。



ご挨拶

当社は、1961年の創立以来、日本にクレジットカードという新しい決済方法を導入したパイオニアとして、お客様の利便性向上と魅力ある商品・サービスの提供に努めてまいりました。1981年には独自の国際展開を決断し、国際カードブランドを運営するわが国で唯一の企業として、世界を舞台にさまざまな事業を展開しております。

現在では、クレジットカードに加えデビットカード、プリペイドカード、NFC、コード決済といったさまざまな決済商品の普及が進むとともに、キャッシュレス化がますます進展しております。世界的にも、モバイルを中心とした金融の発達や各種技術（情報通信、AI、ブロックチェーン等）の進歩により、決済市場は大きな変革期を迎えております。

こうした環境のなか、国内外のお客様との対話を通じて、ニーズに応える商品・サービスと、より安全・安心な決済環境の開発・提供に向けて、全社が一体となって取り組んでおります。そして、日本にクレジットカードのある生活を創造し、国際展開にチャレンジした会社として、更なる飛躍に向け変革を進めてまいります。

アジアを代表する総合決済サービス企業としてお客様に選んでいただけるJCBを目指し、さらに努力を重ねてまいります。
今後ともより一層のご支援をたまりませんようお願い申し上げます。

2024年7月
代表取締役兼執行役員社長

二重 孝好

中期経営計画

2021年度より、4カ年の中期経営計画【Plan 2024】に取り組んでいます。

中期経営計画【Plan 2024】の位置づけ

グループ総合力・デジタルソリューションで、
「選ばれるJCB」への進化を目指す

基本方針

- ・お客様の多様化・高度化する顕在・潜在ニーズに応える
- ・事業価値向上を各組織が連鎖一体となり推進する
- ・国内外で新収益源・新事業を創出する
- ・BPRとデジタル化により、効率性を追求する



左から 代表取締役兼執行役員社長 二重 孝好 代表取締役会長 浜川 一郎

JCB

世界にひとつ。あなたにひとつ。

CONTENTS

01 ご挨拶	03 ブランド事業	07 加盟店事業	09 カード事業
13 プロセッシング事業	14 システム・業務基盤	15 イノベーションへの取り組み	17 多彩なカードラインアップ
19 協賛活動	20 お客様とともに	21 CSR活動	23 会社概要・沿革

※各ページの画像はすべてイメージです。

ブランド事業

JCBは、日本発唯一の国際カードブランドです。世界中でJCBカードを利用できる加盟店ネットワークを展開するとともに、国内外のパートナーとJCBカードの発行を拡大しています。また、充実したネットワークを活かしたJCBならではのブランドサービスの提供や、非接触決済プロダクトなど先進技術の開発・推進に取り組んでいます。



日本発唯一の国際カードブランドJCB



- 1) 台湾の玉山銀行とくまモン券面のカード発行を開始。インバウンド需要に応えるべく、九州エリアでの優待・サービスを提供
- 2) JCBプラザ ラウンジ・ホノルルをリニューアルオープン
- 3) JCBのタッチ決済(JCBコンタクトレス)の海外での取り扱い進展
(上)タイの鉄道SRTレッドライン
(下)イタリア・ローマの地下鉄・バス・トラム

JCBは、1981年に日本発唯一の国際カードブランドとして海外展開を開始しました。以来、世界中の大手金融機関だけでなく、ローカル決済ネットワークや他の国際決済ブランドとの提携により、さまざまな分野で安心して利用できる加盟店網の構築に注力しています。また、JCBは海外の金融機関や決済ネットワーク運営会社と提携し、現地在住のお客様へのカード発行を推進しています。現在、JCBカードはアジア地域を中心に、1億5,800万会員以上に利用いただいています。海外へ渡航されるJCBカード会員はもちろん、海外のJCB会員が公共交通機関をはじめ日常生活で利用可能な環境をより一層整備していくとともに、高品質なサービスを提供することで、今後も世界でJCBカードの発行を拡大していきます。

日本国内でのブランドライセンス事業

日本国内のカード会社や金融機関などへJCBカード発行に関するブランドライセンス事業を展開しています。流通系や交通系、信販系などの特徴の異なる幅広いカード発行会社のニーズにあわせたプロダクト開発を行い、柔軟なソリューションの提供に取り組んでいます。



※企業名を五十音順に一部を掲載

旅行関連を中心とした幅広いブランドサービスを提供

高品質できめ細やかな、JCBならではのブランドサービスを提供しています。また、充実した海外ネットワークを活かし、旅行やビジネスで海外に渡航されるお客様をサポートします。

世界に広がるJCB PLAZA

海外に設置されたJCB会員用サービス窓口「JCB PLAZA」。お客様の満足度向上を目指し、現地の観光情報の案内およびJCB加盟店の予約など、さまざまなサービスを日本語で提供しています。そのうち、ホノルル、グアムなど一部主要都市にはJCB会員専用サービス窓口「JCBプラザ ラウンジ」を設置しており、「JCB PLAZA」のベーシックサービスに加え、ラウンジ独自のサービスとして、お荷物の当日中一時預かりサービス等を無料で提供しています。



JCBプラザ ラウンジ・ホノルル



JCBプラザ ラウンジ・グアム

JCBプラザコールセンター

海外渡航前に、ホテル・レストラン・エステ・オプションツアーなどの海外JCB加盟店を電話で予約手配できる「JCBプラザコールセンター（日本）」と、海外旅行時の万が一の事故や緊急トラブル時の電話相談窓口「JCBプラザコールセンター（海外）」を設置しています。利用手数料・通話料は無料です。

海外旅行をさまざまなツールでサポート

現地情報やJCBカードの利用で優待が受けられる店舗情報など、お客様の快適な海外旅行をサポートする情報をさまざまなツールで発信しています。ウェブサイト「たびらば(旅LOVER)」では、おトクな優待情報の検索ができるほか、現地スタッフが発信している最新情報やお役立ち情報も見られます。また、スマートフォンアプリ「JCB海外優待 たびらば」「JCBハワイガイド」には、チップ計算機能や簡単な会話集など、現地で使える便利な機能も搭載されています。



【ウェブサイト】
たびらば(旅LOVER)



【アプリ】
JCB海外優待 たびらば



【アプリ】
JCBハワイガイド

LINEを活用した新たなコミュニケーション

いつでも・どこでも、JCBが提供する価値ある情報をお届けします。

JCB LINE公式アカウント



JCB LINE公式アカウントを通じて、最新のキャンペーン情報など、おトクで便利な情報を発信します。また、メニューボタンから、いつでも気軽にキャンペーン情報やサービス情報を検索できます。さらに、海外の現地スタッフへの「オンライン相談サービス」や「AIグルメ予約」など、便利なサービスが満載です。



ハワイ「ワイキキトロリー」(ピンクライン)

JCB海外会員の方向けのさまざまなサービス

JCBカードはアジアを中心に3,400万以上の海外会員の方にご利用いただいています。JCB海外会員の方に日本でのショッピング・観光をより快適に楽しんでいただくため、さまざまなサービスを提供しています。

JCBプラチナレストラン - 招待日和

プラチナ以上のJCB海外会員の方向けの高級レストラン優待です。専用予約サイトで対象レストランの所定のコースメニューを大人2名様以上で予約すると、1名様分のコース料金が無料になります。



日本空港ラウンジサービス

日本に渡航するゴールド以上のJCB海外会員の方向けに、日本全国34の空港の無料ラウンジ利用サービスを提供しています。

その他優待サービス

観光名所の入場料割引や、観光ツアー等の優待、各種ショッピングの割引など、全国各地でさまざまな優待を提供しています。

「安全」「安心」な決済環境を提供

JCBは利便性の追求や決済市場の拡大に伴い、お客様がJCBカードをより「安全」「安心」に利用できる環境を整備しています。

本人認証サービス「J/SecureTM」

「J/SecureTM」とは、さまざまな場面において利用される本人認証サービスです。オンラインショッピングなどでの不正利用を防ぐため、JCBカードを利用する際、必要に応じてパスワードの入力を要求したり、認証の過程で会員の方のデバイス情報などの追加情報を利用して本人認証を行い、安全な取引を実現します。オンラインショッピング市場のセキュリティ向上のため、安心してJCBカードを利用できる環境づくりに取り組んでいます。



IC決済・認証のグローバル仕様「EMV[®]」

安全で安心できる高度なセキュリティの決済環境を保持するため、JCBは2004年より「EMVCo」へ出資・参画し、他の国際ペイメントブランドと共にグローバルなICインフラや認証方式の拡大に取り組んでいます。

JCBはEMV仕様に準拠した、接触及び非接触取引カードのアプリケーション「J/SmartTM」や本人認証サービス「J/SecureTM」など数々の決済技術を展開しています。



EMVは米国およびその他の国・地域における登録商標です。EMVの商標は、EMVCoが所有しています。

グローバルセキュリティ基準「PCI DSS」

「PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard)」は、決済カードを安全に取り扱うことを目的としてPCISSCが策定した決済業界のグローバルなセキュリティ基準です。JCBは安全で安心なカードサービスをお客様に提供するために、PCISSCに出資・参画し、セキュリティ基準の向上・普及に積極的に取り組んでいます。



PCISSCとはPayment Card Industry Security Standards Councilの略。JCBを含む国際ペイメントブランド5社で設立したペイメントセキュリティ向上を目的としたグローバルな協議会。

非接触決済で生活をより便利に

JCBは決済インフラの充実・拡大に積極的に取り組んでいます。また、非接触決済など先端技術の開発・推進にも取り組んでいます。

JCBのタッチ決済(JCBコンタクトレス)

ICカードの世界標準「EMV[®]」および近距離通信の国際標準規格に準拠したJCBブランドの非接触決済です。カード・モバイルどちらの発行形態にも対応しています。2007年の台湾での導入を皮切りに、日本を含め、世界各国で導入中です。一定金額までは本人確認なしでスピーディーに決済が可能です。JCBカードやJCBカードが設定されたスマートフォンなどをお店の端末にかざすだけで支払いが可能であり、より簡単で便利な決済手法を提供しています。



国内決済市場で展開する非接触決済プロダクト「QUICPayTM」

QUICPayは、かざして、簡単、便利でスピーディーな非接触決済プロダクトとして展開しています。2016年には「QUICPay+TM (クイックペイプラス)」をリリースし、高額なお買い物や、プリペイドカード・デビットカードにも対応できるようになりました。QUICPayに対応しているカード発行会社は182社(2024年3月末時点)となり、使えるお店も大手コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等の日常使いから、飲食、商業施設、タクシー等さまざまな業種に拡大しています。スマートフォンやキーホルダー型等、形状にとられない展開を通じて、お財布を出さずにお買い物ができる便利な決済環境の拡大に取り組んでいます。



モバイル時代に対応した各種決済プロダクトの開発

時代に適したJCBのモバイル決済サービスを支える、安全安心のプロダクトの開発を継続していきます。

Apple Pay、Google PayTM への対応

スマートフォン(iPhone・AndroidTM)をお持ちのカードを設定いただくことで、QUICPayとJCBのタッチ決済が即時に利用できます。幅広いお客様に安心して利用いただける便利で安全な決済サービスを提供しています。

■iPhoneの場合
・Apple Payを利用するには最新のiOSが必要になります。
・Apple Payに対応しているデバイスについては<https://support.apple.com/ja-jp/102896>をご覧ください。
※Apple Pay、iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

■Android の場合
・Google Payの利用にはGoogleウォレットTMアプリのダウンロードが必要です。
・Googleウォレットに対応するAndroid OSのバージョンは、Googleウォレットのサポートページでご確認ください。
(<https://support.google.com/wallet/answer/13314575>)
・QUICPayを利用するには、おサイフケータイ(R)対応のデバイスが必要です。
※Android、Google Pay、GoogleウォレットはGoogle LLCの商標です。
※「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。



QR／バーコード対応スキーム

近年、世界的に活用シーンが拡大しているQR／バーコード決済(以下、コード決済とする)へJCBも対応しています。東南アジア諸国等ではコード決済のニーズが高く、JCBブランドとしてベトナム・台湾でQRコード*を読み取る方式の決済スキームを提供開始しました。また日本においては、2019年から「Smart CodeTM」の提供を開始。決済情報処理センターの提供や加盟店契約の一本化を行い、事業者・加盟店の皆様や店舗の方の負荷軽減、また消費者の方にとって安心な決済を実現する決済スキームです。現在28社の 이슈アが参加しています(2024年6月末時点)。今後、さまざまな企業と提携し、日本国内でのキャッシュレス決済の拡大に貢献する取り組みを行っていきます。
*「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



JCBブランドとしてのQR／バーコード対応



コード決済事業者・加盟店の皆様と店舗の方をつなぐ日本国内での決済スキーム

カード事業

JCBは国際カードブランドとして、自社での個人・法人カード発行のほか、金融機関およびその関連会社とフランチャイズ契約を締結し、JCBカードの発行を拡大しています。

また、クレジットカード以外にもデビットカードやプリペイドカードといったさまざまな決済手段を展開し、お客様のニーズにお応えする便利なサービスの提供に努めています。



多彩なカードラインアップから、最適な1枚を

JCBは、地域の特性やパートナーのニーズに柔軟に対応し、お客様に高品質なサービスを提供することで、今後もJCBカードの発行を拡大していきます。

The image shows the front of a blue JCB credit card. The text "JCB CARD" is printed in white at the top left. A gold-colored EMV chip is located on the left side. In the top right corner, there is a white contactless payment symbol (three curved lines). The JCB logo, consisting of the letters "JCB" in white on a red and green background, is positioned in the bottom right corner.

クレジットカードは、お支払い方法を選べる後払い方式のカードです。カードで支払うことで、ポイントがたまるなどおトクなサービスを用意しています。

A red JCB DEBIT credit card. The card features the JCB logo (three vertical bars in blue, white, and green) and the word "DEBIT" in white. The card is shown at an angle, highlighting its metallic texture.

デビットカードは、お支払い金額がその場で預金口座から引き落とされる即時払い方式のカードです。国内外のJCB加盟店で利用できます。

A green JCB PREPAID credit card. The card features the JCB logo (three overlapping circles) on the left. The card number 3570 1234 5678 9012 is embossed in the center. Below the number, the cardholder's name is partially visible as "3570 CARDHOLDER NAME". The JCB logo and the word "PREPAID" are in the bottom right corner.

プリペイドカードは、事前にチャージした金額の範囲内で利用できる前払い方式のカードです。国内外のJCB加盟店で利用できます。

※カードによっては、海外で利用できない場合があります。

ノウハウを結集した「JCB ORIGINALシリーズ」

JCBが長年にわたり培ったノウハウを結集し、メインカードとしてふさわしいサービスを付帯した「JCB ORIGINALシリーズ」。「JCB カード S」、「JCBゴールド」のほか、「JCBゴールド」のワンランク上のサービスを提供する「JCBプラチナ」、「JCBゴールド ザ・プレミアム」、若年層向けの「JCB GOLD EXTAGE」、年会費無料でポイント還元率の高い「JCB カード W」、「JCB カード W plus L」、年会費無料でポイント還元率の高いリボ払い専用カード「JCB カード R」と充実のラインアップです。

(一例)



安全安心な「ナンバーレスカード」

カード券面からカード番号をなくしたほか、MyJCBにログインするための特別な2次元コードを掲載。



JCBの最高位のステータスを持つ招待制カード
「JCB ザ・クラス」

JCBの最高位のステータスと価値を持つクレジットカードです。
選ばれた方にふさわしい上質なサービスとサポートを提供しています。



JCB ザ・クラス

個人事業主の方から大規模企業の方まで、経費精算をスムーズにする「法人カード」

JCBが業界に先駆けてサービス展開に取り組んできた法人向けカードです。中小企業・個人事業主の方、大規模企業の方からの各種ニーズやご要望にお応えし、充実のサービスを付帯したさまざまな法人カードをご用意しています。

中小企業・個人事業主の方向け



大規模企業の方向け



企業向け決済ソリューションを提供

カードの「与信」「決済」「認証」の機能を活用し、企業の経費精算や購買など、経理処理の効率化をサポートします。キャッシュフローの改善や請求書精算・振込業務の一本化など、多様なソリューションを提供しています。

カード利用明細データ連携サービス



法人カードの機能・サービスにプラスし、カードの利用明細データを経費精算システムへ自動連携することで、「経費精算処理業務の効率化」「経費処理のガバナンス強化」「経費申請書類のペーパーレス化」を実現します。(右は一例)

パーチェシングサービス

パーチェシングサービスの導入により、取引先との請求書・振込業務を集約することで大幅な業務効率化・コスト削減が実現できます。



全国に展開する、地域密着のフランチャイジー

金融機関およびその関連会社とフランチャイズ契約を締結し、全国でフランチャイジー（FC）によるJCBカードの発行、加盟店事業を展開しています。「キャッシュカード一体型」や「デビットカード」の推進など、利便性の高い商品・サービスを提供するほか、ポイントプログラムの活用により地域活性化に寄与する「エリアカード」の推進など、FCおよび各地のJCBカード会員の方のニーズに応えるサービスの提供に努めています。

フランチャイジー一覧

- | | | | | |
|---|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| ① ㈱名古屋カード | ②③ ㈱近畿しんさんカード | ④ ㈱もみじカード | ⑤ ㈱りそなカード | ⑥ ㈱足利銀行 |
| ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ |

※企業形態別FC契約順に掲載

(2024年6月末日現在)

カード会員の方向けサービス

JCBは、1981年にクレジットカード業界初のポイントサービスを開始するなど、便利でおトクな付帯サービスを開発し、業界をリードしてきました。大手企業と提携し、ポイントプログラムの活用にも積極的に取り組んでいます。

楽しみが増える「Oki Dokiポイントプログラム」

JCBカードの毎月のご利用合計金額1,000円(税込)ごとに1ポイントたまり、バラエティー豊かな商品などに交換できる楽しい特典です。ポイント移行やAmazon.co.jpでの買い物の際に利用できる「パートナーポイントプログラム」など、さまざまな商品を取り揃えています。



※Amazon、Amazon.co.jp、Amazon/パートナーポイントプログラムおよびそれらのロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。
※掲載内容は予告なく変更となる場合があります。

メンバーシップサービス「JCB STAR MEMBERS」

年間でJCBカードを一定金額以上利用された方だけに、特別に提供するメンバーシップサービスです(登録不要)。メンバーランクが適用されると、毎月のお支払いによる通常のポイントに加えてボーナスポイントの獲得など優遇を受けられます。



※サービス内容は予告なく変更となる場合があります。

多様なお支払い方法をご用意

利用後・事前登録・店頭利用時などさまざまなシーンで、お客様のご都合にあわせて選べるお支払い方法をご用意しています。

ショッピングスキップ払い

ショッピング1回払いのお支払い月を、あとからご指定のお支払い月に変更できます。



スマリボ

ショッピング1回払いご利用分が自動的に「リボ払い」になる登録型リボ払いです。無理のない快適なお買い物をサポートします。



ショッピング利用後リボ払い・分割払い

店頭での「リボ払い」「分割払い」はもちろん、ショッピング1回払いご利用分をあとからお客様の都合にあわせて「リボ払い」「分割払い」へ変更することもできます。

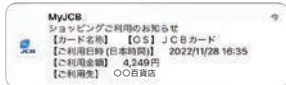
会員専用WEBサービス「MyJCB」

MyJCBに登録すると、ご利用代金明細や獲得ポイントの照会のほか、お支払い方法の変更、キャンペーンへの参加登録、カード利用都度の通知設定、お支払い口座残高の表示などのサービスを利用できます。スマートフォン用のアプリも提供しています。



カードご利用通知

カードの利用都度、利用内容の簡易情報をリアルタイムにメールやアプリの通知で受け取れるため、不審な利用も素早くチェックできます。



日常生活のトラブルをしっかり補償「JCB トッピング保険」

日常生活でのトラブルを補償する「日常生活賠償プラン」、不意の自転車事故の際、ご家族全員を補償する「自転車プラン」など、複数のプランから選べる保険です。お申し込みはMyJCBから24時間いつでも可能で、お申し込みの翌日から補償が開始されます。



さまざまな分野に広がるJCBのソリューション

JCBギフトカードやJCBプレモカードの発行、保険サービスの提供など、さまざまな分野でお客様のニーズにお応えするために、積極的な取り組みを続けています。

即時発行が可能なクレジットカード・デビット

〈クレジットカード〉

「モバイル即時入会サービス」は、対象のクレジットカードへのオンライン入会申込からカード番号の発行までが最短5分で完了するサービスです。
eKYCをご利用いただくことで、カード送達前から以下の範囲で利用できます。
・アプリ上でカード番号を確認してのオンラインショッピング
・Apple Pay / Google Pay™ による店頭でのショッピング



〈デビット〉

JCBが金融機関向けに提供する「JCBモバイルデビットサービス」は、金融機関のスマートフォンアプリから、即時にバーチャルのデビットカードを発行できるサービスです。
お支払い時にスマートフォンをかざすだけで、通常のデビットカード同様、お支払い金額がその場で口座から引き落とされます。
コンビニエンスストア・スーパーマーケットなど、全国のQUICPay+加盟店で利用できます。
みずほ銀行・三菱UFJ銀行・みんなの銀行にて、本サービスを利用した即時発行デビットが提供されており、他の金融機関での導入も推進しています。

贈答・自己利用どちらにも使えるプリペイドスキーム「JCB PREMO」

JCB PREMOは、コンビニや百貨店、家電量販店など全国70万店以上で使えるサーバー管理型のプリペイドスキームです。お客様のニーズにあわせて、贈答・自己利用どちらにも活用できます。
また、自社・自店舗などに利用範囲を限定した「ハウス型プリペイドカード」の発行支援も実施しています。



販促キャンペーンや社内報奨に「JCBギフトカード」「JCB-QUOカード」

JCBギフトカードは全国100万店以上のJCBギフトカード取扱店で利用できる便利な商品券です。当社独自のメッセージギフトケースをはじめとする多彩な包装を用意しています。JCB-QUOカードは、企業のオリジナル券面を作成することができ、販促キャンペーンにも利用が可能です。



JCBギフトカード
スーパー・百貨店・ショッピングセンター・家電量販店・ドラッグストアなどの取扱店で利用できる便利な商品券です。



JCB-QUOカード
コンビニエンスストア、書店など毎日の生活シーンで利用できます。

安心で快適なトラベル・エンターテインメントサービスの提供

株式会社JCBトラベルは、JCBカード会員の方専用の旅行会社として、「安心」「便利」「高品質」な旅行サービスをはじめ、演劇・歌舞伎・コンサートなどのチケットサービス、名門ゴルフ場の手配、国内有名飲食店によるグルメサービスなど、トラベル・エンターテインメントに関するサービスを開発・提供しています。

※株式会社JCBトラベルは、株式会社ジェーシービーと、世界で有数の旅行会社である株式会社JTBとの合弁グループ会社です。

あなたの旅のそばに、いつも

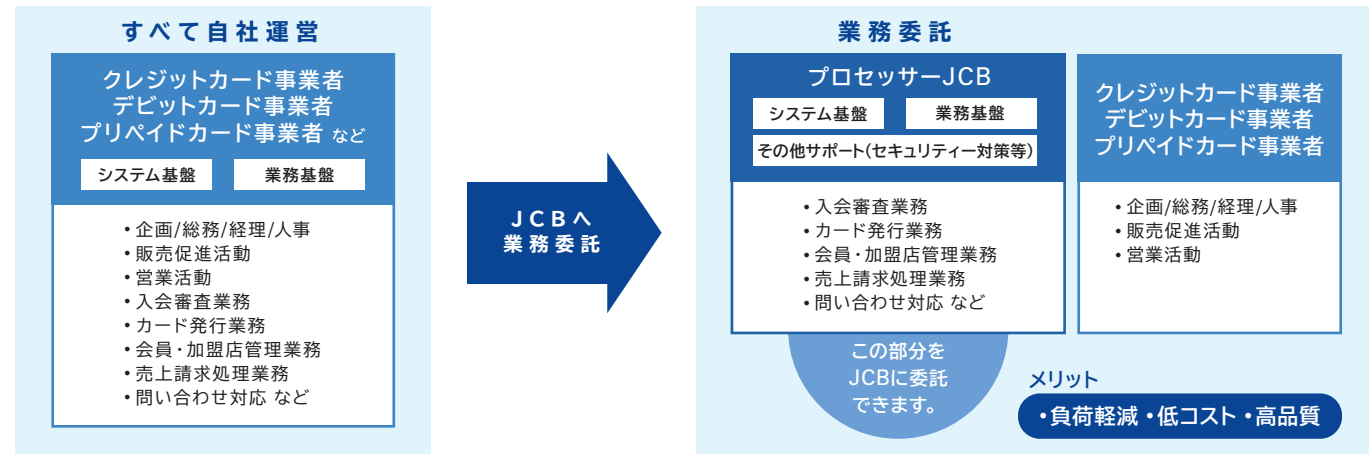
JCBトラベル

「保険代理店業務」で、毎日の生活をサポート

生命保険・損害保険・少額短期保険の代理店業務を行っています。会員の方からの保険相談や各種プロモーションを通じ、毎日の生活をサポートできるようなご提案を心がけています。また、ホームページから加入手続きができる「海外旅行保険」「自動車保険」など、さまざまな保険商品を取り扱っています。

プロセッシング事業

JCBが保有するシステム・業務基盤を活用して、クレジットカード事業者などから業務を受託するプロセッシング事業を展開しています。クレジットカードにとどまらず、デビットカードやプリペイドカードなどを含む決済スキーム全般の業務について、全面的な受託から部分的な受託までお客様のニーズにあわせて対応します。プロセッシング事業のさらなる拡大に向け、お客様から求められる「負荷軽減」「低コスト」「高品質」を実現する受託基盤の強化を進めています。



システム・業務基盤

JCBのブランド事業・加盟店事業・カード事業・プロセッシング事業は、先進的なシステム基盤および高品質・低コストの業務基盤によって支えられています。



業界最新鋭のシステム基盤

基幹システム「JENIUS(ジニアス)」は、拡張性・信頼性・汎用性を高く保ち、お客様のニーズに柔軟に対応するためにつねに進化を続けています。

- ①業界最新鋭のシステム → 大容量高速処理を可能にするシステム基盤を構築しています。
- ②ノンストップの処理体制 → 24時間365日、ノンストップでシステム処理を行っています。
- ③優れた災害対策 → 災害時には、他エリアへ迅速に切り替える体制を整えています。
- ④柔軟なシステム設計 → 多様な要件に対応できるシステム設計を行っています。

お客様の信頼に応える確かな業務基盤

お客様の信頼に応える業務品質の提供、効率的な業務運営による低コストオペレーション、および今後の受託事業拡大や、事業継続の向上を踏まえた業務基盤構築のため、複数の業務処理拠点を配置しています。

JCBが受託するカード



業務処理拠点(国内)

北海道支社

コールセンター業務 債権管理業務

青山本社

国際関連業務

高田馬場オフィス

加盟店関連業務 コールセンター業務

JCBカードセンター(三鷹)

カード発行業務 売上請求業務 与信管理業務
債権管理業務 コールセンター業務 金融商品管理業務

大阪支社

カード発行業務 コールセンター業務
諸変更業務 債権管理業務

JCB鳥取ソリューションセンター

事務全般

松江事業所

入金案内業務

JCB福岡コンタクトセンター

コールセンター業務

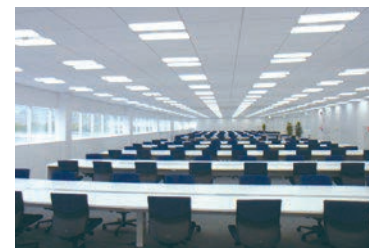
(2024年6月末日現在)

JCB鳥取ソリューションセンター

事業拡大に伴う事務業務量の増加への対応に加え、東日本大震災を契機とした事業継続計画(BCP)の実効性向上を目的に、鳥取市に事務拠点を設置し、2014年より、JCB100%出資子会社「株式会社JCBエクス」にて運営しています。



JCB鳥取ソリューションセンター



JCB福岡コンタクトセンター

お客様の信頼に応える業務品質のさらなる向上を目指し、2010年より福岡にコンタクトセンターを開設し、変更受付デスク、紛失盗難受付デスク、オーソリセンター、加盟店デスクなどを運営しています。

イノベーションへの取り組み

技術・市場等の変化に適切に対応するとともに、持続的成長に向けたビジネス変革に取り組んでいます。
オープンイノベーションを取り入れ、さまざまな企業の皆様と一緒に次のJCBを創っていきます。

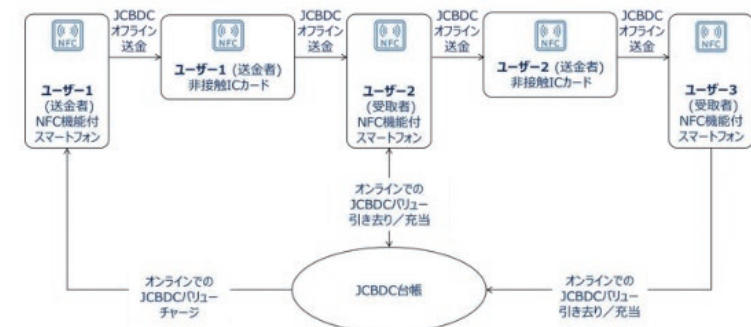
デジタル通貨の実証実験第2フェーズを実施

～オフライン環境下のCBDC送金(P2P送金)取引を可能に～

現在、世界各国にて中央銀行デジタル通貨(Central Bank Digital Currency、以下CBDC)に関する検討や実装が進みつつあり、日本でも、日本銀行がCBDCの検討および実証実験等を行っています。JCBは2022年10月に、IDEMIA・Soft Spaceとの協業により、CBDC向け決済ソリューションの実証実験「JCBDC*」プロジェクトを開始し、JCBのタッチ決済インフラを活用し、CBDC向けのカード形状インターフェイスを提供することで疑似的なCBDC取扱い環境を構築し実証を行いました。また、その第2フェーズとして、2023年12月より、オフライン環境下におけるCBDC送金(オフラインP2P送金)を主要テーマとして、JCBのタッチ決済インフラ等の活用や協業パートナーが提供する先端テクノロジーの活用により、新たなソリューションの開発および実証を行いました。JCBは、今後登場が見込まれるCBDCが、利用者・取扱店舗双方にとって負荷なく、安全・安心にご利用いただけることを目指します。

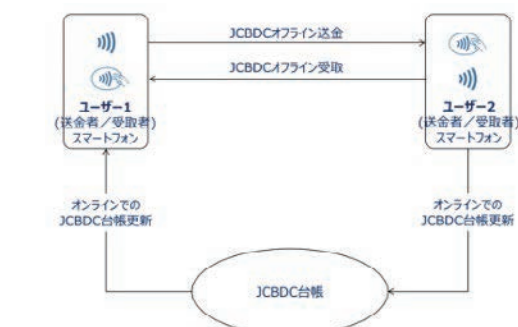
*JCBDCはJCBによる造語で、「Japan CBDC」(日本のCBDC)と「JCB Digital Coin/Currency」(JCBによるデジタル通貨向けソリューション)を表しています。

1 オフライン環境下における、スマートフォンを媒介したカード間での送金



- ▶オフライン環境下において、送金者がタッチ決済対応カードを、スマートフォンにタップ。さらに受取者のタッチ決済対応カードを同じスマートフォンにタップ。送金者のタッチ決済対応カードから受取者のタッチ決済対応カードへバリューを移転(送金)。
- ▶スマートフォンがオンライン接続したタイミングで、スマートフォンからクラウド上の検証用台帳システムへの同期・連携を実施。

2 オフライン環境下における、スマートフォン間での送金



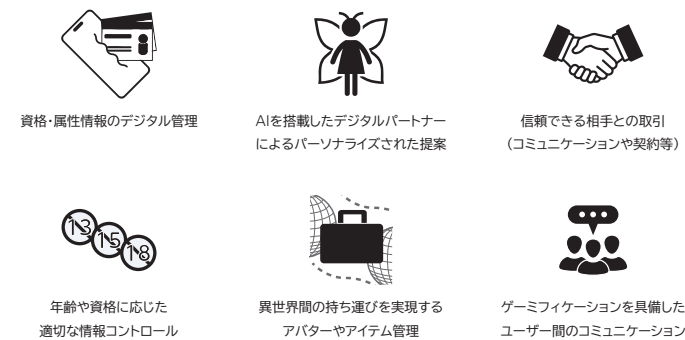
- ▶オフライン環境下において、送金者のスマートフォンを、受取者のスマートフォンにタップ。NFC通信により、スマートフォン間のバリュー移転(送金)を実行。
- ▶スマートフォンがオンライン接続したタイミングで、スマートフォンからクラウド上の検証用台帳システムへの同期・連携を実施。

メタバースを支えるデジタルIDウォレットの開発を本格化

～メタバースという新たな経済圏における安全・安心な取引の実現を～

メタバースはインターネットの三次元化と言われ、さまざまなビジネスの登場が期待されています。メタバースが今後発展し、さまざまな商取引で活用されるようになるには、ユーザーの適切な確認・認証が鍵になると考え、メタバースにおけるデジタルアイデンティティの活用に向けた取り組みを実施しています。その中で、ジャパン・メタバース経済圏を推進するログシス株式会社と資本業務提携を締結しました。本提携により、同社は資格情報や属性情報をデジタルデバイスで管理し、対面・非対面で提示することで帰責者を証明するデジタル・アイデンティティ・ウォレット「MULTI MAGIC PASSPORT™(以下MMP)」の開発を本格化します。

「MMP」の一部機能(予定)



リュウグウコク®におけるMMP利用イメージ



お客様向けの価値向上に関する取り組み

お客様の課題解決や利便性向上のため、全社を挙げて取り組んでいます。

NFCタグ決済

当社では現在JCBカード決済が利用できない領域への対応としてNFCタグを活用した決済を提供しています。
ユーザーのスマホをNFCタグにかざすとWEBサービスに接続され、WEBサービス内で金額を確定し決済を完了します。決済時の店舗側の操作が不要でスピーディーに決済ができるほか、NFCタグは安価で小型、電源不要のため柔軟に設置場所をレイアウトできます。混雑の分散が求められるスタジアムや期間限定イベント会場のような催事場、高価な端末の設置が難しい小規模店舗などのキャッシュレス決済未導入店への導入が期待されます。



B2B決済サービス「請求書カード払い」

当社は株式会社デジタルガレージと協業しJCBグループの法人カード会員の方向けB2B決済サービス「請求書カード払い」を提供しています。本サービスは、銀行振込の請求書をJCBのカード払いに切り替えることで、実質的な支払い期日を繰延するサービスです。季節要因による定期的な資金不足や突発的な資金調達など、中小事業者の皆様の資金繰りをサポートします。JCBとデジタルガレージは、2022年2月の資本業務提携に基づき、決済事業のさらなる拡大、フィンテックサービスの拡大を目的に、相互のアセットを活用したB2B市場向けの新規事業・サービスの開発や協業を推進しており、本件はその一環の取り組みとなります。

請求書カード払い
JCB × Digital Garage

JCB Biometrics Card

指紋認証機能付きICカードの開発に取り組んでいます。
カード上の指紋センサーにあらかじめ登録しておいた指を乗せることで、即座に本人認証が完了します。指紋データはカードに安全な形で保存され、指紋認証処理もカード内で完結するため、店頭で新たな認証端末などを導入する必要はありません。



JCB Tap on Mobile

「JCB Tap on Mobile」は、一般消費者向けに販売されているスマートフォンやタブレットなどの汎用機器をJCBのタッチ決済端末として利用する仕組みです。スマホ等の汎用機器のNFC機能を利用するため、加盟店の皆様は従来の決済端末を用意することなくJCBのタッチ決済取引ができるようになります。お客様はJCBのタッチ決済対応カードもしくはモバイルをかざすだけで支払いが完了します。スマホ等の汎用機器を利用することで、簡単かつ安全に決済ができ、加盟店の皆様やお客様の利便性が向上します。

ご利用イメージ



「JCB消費NOW」

ビッグデータ解析ノウハウを持つ株式会社ナウキャストとの共同事業として、クレジットカードの購買情報を基に、現金を含むすべての消費動向を捉える国内消費動向指数を開発・提供しています。
企業における業界動向分析のみならず、日本経済の動向を探るための指標として行政機関やさまざまな企業に広く活用されています。JCB消費NOWのみならず、JCBは社会課題の解決に資するデータ利活用のあり方を追求していきます。



多彩なカードラインアップ

JCBではお客様のニーズにあわせて「後払い」「即時払い」「前払い」と3種類の決済スキームをご用意し、クレジットカードはもちろんデビットカード、プリペイドカードを提供しています。

クレジットカード

■ JCBグループ発行カード

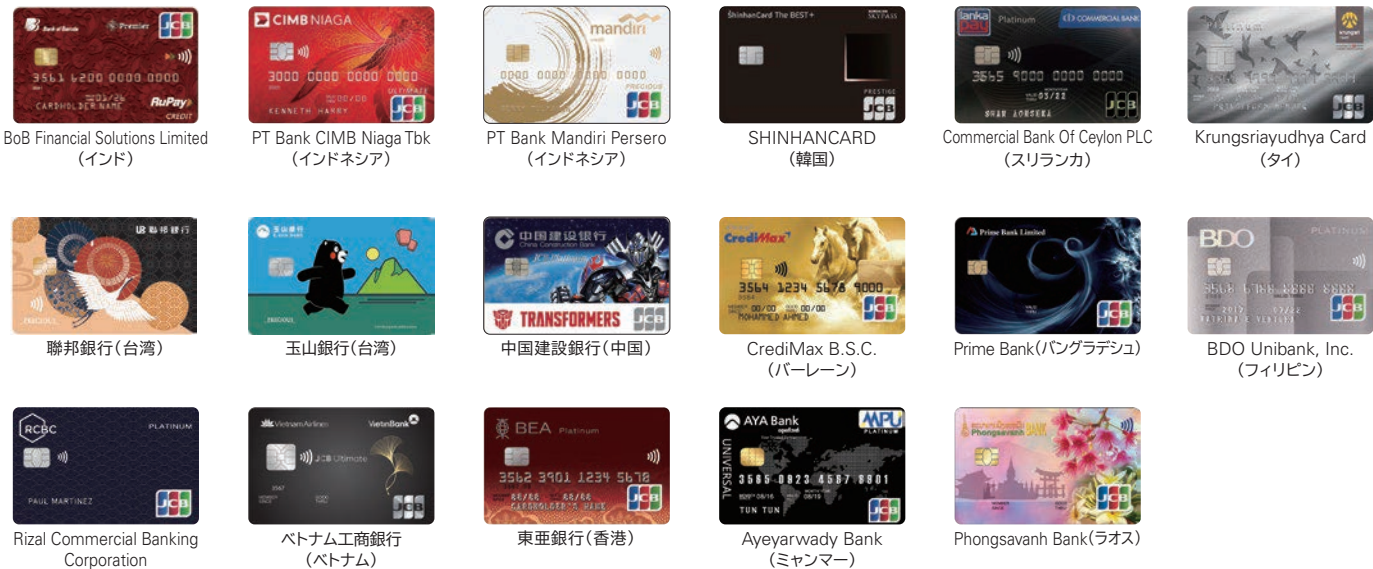


■ 国内パートナー発行カード



※企業名を五十音順に一部を掲載

■ 海外パートナー発行カード



※カード発行国・地域の五十音順に一部を掲載

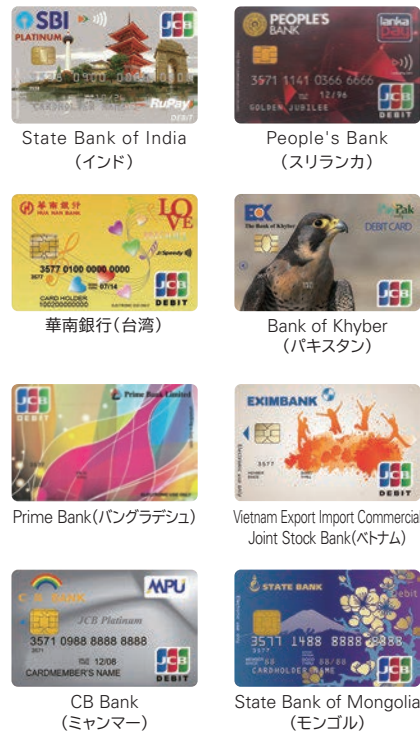
デビットカード

■ 国内発行のデビットカード



※企業名を五十音順に一部を掲載
※取扱銀行数合計: 38行(2024年6月末日現在)

■ 海外発行のデビットカード



※カード発行国・地域の五十音順に一部を掲載

プリペイドカード

■ 国内発行のプリペイドカード



※企業名を五十音順に一部を掲載

■ 海外発行のプリペイドカード



※カード発行国・地域の五十音順に一部を掲載

協賛活動

JCBは、お客様満足につながる付加価値の提供に取り組んでいます。

東京ディズニーランド®、東京ディズニーシー®やユニバーサル・スタジオ・ジャパンなど、さまざまな分野への協賛もその一例です。さらに、チケットが当たるキャンペーンやイベントへの招待など、JCBならではの特典も用意しています。

東京ディズニーランド®、東京ディズニーシー®

JCBカードは、夢と魔法の王国・東京ディズニーランド、そして冒険とイマジネーションの海・東京ディズニーシーのオフィシャルカードです。またオフィシャルスポンサーとして、東京ディズニーランドで「スター・ツアーズ：ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー」、東京ディズニーシーで「ニモ&フレンズ・シーライダー」を提供しています。



©Disney

JCBは、東京ディズニーランド®、東京ディズニーシー®のオフィシャルスポンサーです。

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

ハリウッドの大作映画や日本が誇るアニメやゲームなどをテーマにした興奮のライドやショー、季節ごとのイベントなど、子どもから大人まで楽しめるワールドクラスのエンターテインメントを集めたテーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」。

JCBは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのオフィシャル・マーケティング・パートナーとして「ザ・フライング・ダイナソー」に協賛しています。



JCBは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのオフィシャル・マーケティング・パートナーです。
TM & © Universal Studios & Amblin Entertainment
TM & © Universal Studios. All rights reserved. CR24-2186

YOSAKOIソーラン祭り／JCB・夢翔舞

JCBは、YOSAKOIソーラン祭りの参加チーム「JCB・夢翔舞」に協賛しています。

JCB・夢翔舞



JCBは、YOSAKOIソーラン祭りを応援しています。

福岡ソフトバンクホークス



JCBは、福岡ソフトバンクホークスのオフィシャルスポンサーです。

eスポーツチーム／ZETA DIVISION®

JCBは、eスポーツチーム「ZETA DIVISION®」に協賛しています。



お客様とともに

JCBは、会員・加盟店の皆様、JCBグループのカード発行会社や提携先をはじめとするビジネスパートナーの皆様など、多くの方々に支えていただき事業を営んでいます。これらの皆様がすべて、JCBのお客様です。

JCB CX

JCBは、“人に、未来に。グッド・エクスペリエンスを。”をCX VISIONとし、すべてのお客様と未来につながる「体験」をお届けするために、全社一丸となって取り組んでいます。



JCB CX STANDARD
人に、未来に。グッド・エクスペリエンスを。

「お客様の声」への取り組み

CS推進委員会

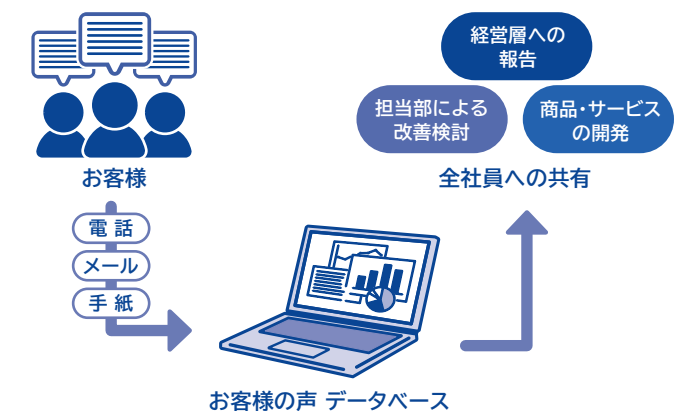
社長を委員長とする「CS推進委員会」を定期的に行い、役員で構成された委員と担当部を交え、改善方針を決定しています。



CS推進委員会

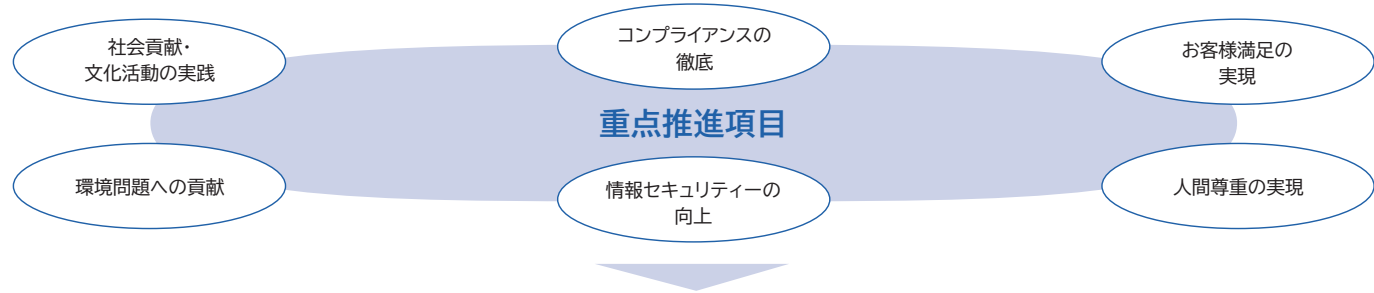
改善活動サイクル

お客様からいただいた声を真摯に受け止め、商品・サービス等の改善に活かす取り組みをしています。



CSR活動

JCBでは、2005年に企業活動における基本的な考え方を「JCB憲章」に、これに基づく企業および全従業員の行動に関する指針を「JCB行動指針」に定め、全社でCSR活動に取り組んでいます。法令や契約・社会ルールを遵守した事業活動を行い、社会・お客様との継続的な信頼関係の構築に努めています。



JCB憲章

日本発唯一の国際クレジットカードブランド・JCBを有する当社グループ*は、持続可能な社会の発展に向けて経営のあらゆる側面からグローバルな視点で「企業の社会に対する責任」(CSR)を果たします。また、当社の事業はお客様との継続的な信頼関係のうえに成り立つとの認識のもと、以下の原則に基づいてためめ努力を続けます。

1. 法令や社会ルールを遵守し、正しい人権尊重意識を経営・業務に生かし、公正・誠実な企業活動を行います。
2. お客様(会員・加盟店など)をはじめ取引先や提携先との約束(規約・契約)を遵守します。
3. 優れた機能・サービスの提供によりお客様の満足と信頼を獲得するとともに社会に貢献します。
4. 従業員の人格・個性・能力を尊重し、安全で働きやすい職場環境を実現します。
5. 消費者の権利や個人の尊厳を守り、とくに個人情報の保護徹底に努めます。
6. 国際社会・地域社会に貢献するとともに多様な文化・価値観を尊重し、その発展に寄与する機能・サービスの開発に努めます。
7. 地球環境の保全に努め、豊かで住みやすい社会作りを心がけます。
8. 株主をはじめ広く社会とのコミュニケーションに努め、公正な説明責任を果たします。
9. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対しては毅然とした態度を貫きます。
10. マネー・ローndリングとテロ資金供与の防止に取り組みます。

*「当社グループ」とは株式会社ジェシービーとその子会社(株式会社ジェシービー・インターナショナルの海外子会社を含む)を意味する。

JCB行動指針

コンプライアンスの徹底

1. すべての法令や社会ルールを遵守し、いかなる理由があってもこれを逸脱しません。
2. 知的財産権など自他いずれの権利をも尊重します。
3. 取引先・提携先などの関係先を尊重し、契約においては責任を果たすとともに双方の権利を保全します。
4. 反社会的勢力との取引を含めた一切の関係を遮断し、反社会的勢力を社会から排除していくことに貢献します。
5. マネー・ローndリングとテロ資金供与を防止するため、適切な対策を講じます。

お客様満足の実現

1. 「お客様の声」に真摯に耳を傾け、機能・サービスの改善や開発に活かします。
2. お客様に喜ばれる、優れた機能・サービスを提供し、お客様に安心と信頼を提供します。
3. つねにお客様本位の視点で業務に取り組み、自律的な品質向上活動を実践します。

人間尊重の実現

1. 従業員の人権に対する正しい理解と認識を高め、人権尊重の社風を創出します。
2. 明るく健康な職場環境を維持し、実績や能力を公正に評価することに努めます。
3. 従業員はつねに誠実に仕事に取り組み、自己啓発に努め、従業員としての自覚と誇りを持って行動します。

情報セキュリティの向上

1. 皆様からお預かりした個人情報は、適切に管理し、保護を徹底いたします。
2. 社会インフラとしての決済システムをはじめとする各種システムの安定稼働に努めます。
3. 取り扱い情報の機密性を守り、正確で完全な情報の維持に努め、適切且つ円滑な取引を実現します。

環境問題への貢献

1. 環境関連法規の遵守はもとより、事業活動に伴い発生する環境負荷を軽減させます。
2. 省エネルギー・省資源・廃棄物削減・リサイクル推進等により循環型経済社会の実現に寄与します。
3. 環境に優しい暮らし(エコライフ)を重視し、グリーン購入などに努めます。

社会貢献・文化活動の実践

1. 事業を通じて実現できる社会貢献・文化活動に積極的に取り組みます。
2. 従業員の自主的なボランティア活動を支援します。
3. 地域社会との調和を保って良き企業市民としての責務を果たします。

コンプライアンス・情報セキュリティへの取り組み

法令を遵守するだけでなく、法令で定められたレベルをつねに上回ることを社会的責任の履行と認識し、コンプライアンスの徹底として、法令・社会ルールの遵守、反社会的勢力との取引排除やマネー・ローndリングとテロ資金供与の防止などに取り組んでいます。また、お預かりしている情報に対し、さまざまな安全管理対策を講じ、情報セキュリティの向上に努めています。



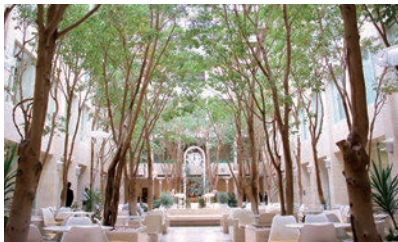
コンプライアンスの手引き



ISO 97519/ISO 27001

働きやすい職場作り

明るく健康的な職場環境のもとで能力を発揮して働くことができるよう、制度の充実に努めています。また、従業員が誇れる会社を目指して、さまざまな取り組みを行っています。



社会貢献への取り組み

当社事業との関連を踏まえ、またステークホルダーの皆様、および社会の期待に応えるため、今後当社が重点的に取り組むべきCSRの分野を選定し、JCBならではの取り組みを展開しています。



教育



環境



国際支援



災害被災地支援

インドネシア森林保全への支援

2016年4月より、インドネシアのジャワ島中部でマングローブの植林を支援しています。紙の原料として用いられるマングローブの植林を通じて、環境保全と温室効果ガス吸収への寄与をめざしています。



JCB社会貢献プログラム



教育



環境



国際支援



災害被災地支援

創立50周年を迎えた2011年より、全役職員が年1回以上、社会貢献活動に参加する全社活動を行っています。活動を通じて充実感や達成感が得られるほか、福祉、国際協力など社会課題について理解を深めるきっかけにもなり、参加者の成長につながっています。

累計参加役職員数:のべ約28,000名(2011年1月~2024年3月)

脱炭素に関する取り組み

脱炭素に向けた国際機運の高まりを受け、グローバルバースで温室効果ガス(以下、GHG)の自社排出量の削減をめざしています。2022年度のGHG自社排出量は、主な拠点のCO2フリー電力への切り替えなどにより、2013年度比で54.4%減少し、削減目標を達成しました。

東日本大震災など自然災害からの復興支援

「5」のつく日。JCBで復興支援(2011年~2020年)

一定期間内の「5」のつく日のJCBカードご利用1件に対して1円をJCBが拋出し、復興支援に取り組む団体に支援金として寄付する活動を、2011年から2020年まで実施。寄付額は全10回で累計6億円強に達しました。



支援の例(地域活性化・コミュニティ再生)

全10回の支援金合計:609,309,637円

ホノルル美術館への支援



国際支援

2016年3月より、貴重な文化財の保全支援を目的に、浮世絵などアジアの美術品を多数保有するホノルル美術館の支援を行っています。



ホノルル美術館

ミャンマーの学校校舎建設への支援



教育



国際支援

2017年2月に、ミャンマーの学校へ校舎を贈呈。教育環境の向上に役立てられています。



キャッシュレス金融教育プログラムの提供



教育

金融教育に対する社会の期待の高まりを受け、高校の授業で活用できるキャッシュレス金融教育プログラムを、2023年より全国を対象に提供。18歳になったら本人の意思だけで契約できるクレジットカードを中心に、拡大・多様化するキャッシュレス決済について学べる構成としています。



環境

【GHG排出量削減目標(2022年6月1日公表)】

- (1) 2022年度に2013年度比50%超のGHG排出量(※)を削減
- (2) 2025年度に同80%超のGHG排出量を削減
- (3) 2030年度にGHG排出量ネットゼロをめざす

※JCBと連結子会社、持分法対象の海外現地法人のScope1、Scope2が対象



災害被災地支援

公益信託JCB東日本大震災に負けない子どもたちの未来を応援する奨学基金

震災でご両親を亡くされた子どもたちに奨学金を支給する基金を、2012年1月に設立しました。震災発生時の末就学児が大学・専門学校を卒業するまでの長期にわたり、応援を続けます。



Oki Dokiポイントプログラム ポイントチャリティー

会員の方からのポイントによる寄付を通じて、日本ユニセフ協会や国境なき医師団、日本赤十字社など、10の団体の活動を支援しています。

累計寄付額:324,339,739円(2006年4月~2024年3月)



日本ユニセフ協会



国境なき医師団



日本赤十字社



国連UNHCR協会

会社概要

会社概要

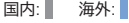
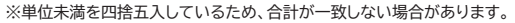
*については2024年3月末現在

営業収益	4,016億円	経常利益	394億円
営業費用	3,641億円	当期純利益	278億円
営業利益	375億円		(2023年度)

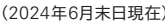
役員一覧

(2024年6月末日現在)

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
会員数 (単位:万会員) 当社事業における会員残高数の合計	会員数 (単位:万会員) 当社事業における会員残高数の合計	会員数 (単位:万会員) 当社事業における会員残高数の合計	会員数 (単位:万会員) 当社事業における会員残高数の合計
年間取扱高 (単位:億円) 当社事業における取扱額の合計(一部推定値を含む)	年間取扱高 (単位:億円) 当社事業における取扱額の合計(一部推定値を含む)	年間取扱高 (単位:億円) 当社事業における取扱額の合計(一部推定値を含む)	年間取扱高 (単位:億円) 当社事業における取扱額の合計(一部推定値を含む)



組織図



国内拠点一覧

- (2024年6月末日現在)

Asia/Pacific
● JCB International Co., Ltd.

Russia & CIS
● JCB International (Eurasia) LLC

(2024年6月末日現在)

- JCB Middle East LLC
本社／リヤド
- JCB International Co., Ltd.
駐在員事務所／ドバイ

沿革

- 1961 ▶(株)日本クレジットビューロー(略称JCB)設立
▶(株)大阪クレジットビューロー(略称OCB)設立
▶日本初の汎用型クレジットカード発行開始
▶カード利用代金の口座振替開始(民間企業初)

日本初の汎用型クレジットカード

1961年1月に設立後、同年3月には日本初の汎用型クレジットカードの発行を開始しました。いち早くプラスチック素材のカードや米国規格のサイズを採用し、同年5月には、いまでは一般的となっているご利用代金の銀行口座からの自動引き落としを、民間企業として初めて実現しました。



最初のJCBカード

- 1963 ▶JCB・OCB加盟店相互開放開始(全国加盟店網の完成)

- 1968 ▶キャッシングサービス取り扱い開始
▶JCB・OCB合併
▶(株)エイチ・シー・ビー(略称HCB)設立

- 1969 ▶カード盗難保険制度開始
▶カード会員向け通信販売を開始

- 1972 ▶会員数100万人突破

- 1973 ▶五光商事(株)(現(株)ジェーシービー・サービス)設立

- 1975 ▶JCBカード・ローン取り扱い開始
▶加盟店での「ボーナス一括払い」取り扱い開始

- 1978 ▶(株)ジェーシービーに社名変更

- 1980 ▶(株)ジェーシービー・トラベル設立
▶JCBギフトカード取り扱い開始(国内初の汎用型ギフトカード)

- 1981 ▶国際クレジットカードブランドとして海外へ展開開始

独自の国際ブランド展開

日本からの海外渡航自由化などにより、国内カード会社が海外の国際ブランドと提携を進めるなか、JCBは米国以外のクレジット会社として初めて独自の国際展開を決断しました。JCBが培ってきた独自性を重視した選択とともに、日本の経済力の高まりも後押しし、「日本発唯一の国際クレジットカードブランド」が誕生しました。



初のJCB海外加盟店
香港のデューティーフリーショップバース

- ▶香港に現地法人設立
▶(株)ジェーシービー・インターナショナル(略称JCBi)設立
▶初の海外サービス窓口を香港に設置
▶業界初のポイントサービス「JOYJOYプレゼント」(現「Oki Dokiポイントプログラム」)開始

業界初のポイントサービス

「JOYJOYプレゼント」は、業界初のポイントサービスとして注目を集めました。当初は、カード利用1回につき1点、さらにご利用合計金額1万円ごとに1点の応募シールが、カードご利用代金明細書に印刷され、それを台紙に貼り付けて応募するものでした。交換商品は、当時流行の「ウォークマン」が人気でした。



JOYJOYプレゼント チラシ

- 1982 ▶JCBゴールドカードの発行開始
▶カード表面に磁気ストライプ導入
▶国内金融機関などとのフランチャイジー展開開始

- 1983 ▶会員数500万人突破
▶「タクシーチケット」取り扱い開始

- 1984 ▶国際標準規格(ISO)に対応しカード番号を11桁から16桁へ変更。カード裏面に磁気ストライプ導入
▶JCBカード海外発行開始

- 1986 ▶カードにホログラム装着

- 1987 ▶会員数1,000万人突破
▶アメリカに現地法人設立

- 1988 ▶東京ディズニーランド®のオフィシャルスポンサー契約締結
▶業界初のサインレス取引開始

業界初のサインレス取引

カードが日常生活に密着した決済手段となるきっかけとなったサインレス取引の第一号は、東京ディズニーランド®でした。当時のカードの常識を覆し、決済処理時間を大幅に短縮したことで、東京ディズニーランドでのJCBカードの取り扱いを実現することができました。



POS処理の様子

- ▶イギリスに現地法人設立

- 1989 ▶オンラインシステム〈JETシステム〉稼働開始
▶「JCBショッピングパスポート」発行

- 1990 ▶JCB PLAZA展開開始
▶「JCBザ・クラス」発行開始
▶イタリア、オーストラリア、グアムに現地法人設立

- 1991 ▶シンガポールに現地法人設立
▶国際総合システム稼働開始

- 1992 ▶加盟店での「JCBリボルビング払い」取り扱い開始

- 1993 ▶台湾に現地法人設立

- 1994 ▶東京・三鷹にJCBカードセンター開設

- 1995 ▶(株)日本カードネットワーク設立

- 1998 ▶HCBを完全子会社化し、(株)ジェーシービー北海道に社名変更

- 1999 ▶海外会員数100万人突破
▶JCBブランドICカードソリューション「J/Smart™」策定

- 2000 ▶日本マーチャントサービス(株)(現(株)ジェイエムエス)設立
▶アメリカン・エクスプレスと日本および海外5か国での加盟店業務について提携
▶会員専用WEBサービス「MyJCB」開始
▶東京ディズニーシー®のオフィシャルスポンサー契約締結
▶ユニバーサル・スタジオ・ジャパンとオフィシャル・マーケティング・パートナーシップ契約締結

- 2001 ▶タイに現地法人設立
▶「JCB分割払い(回数型)」取り扱い開始
▶ICカード標準発行開始
▶メンバーシップサービス「JCB STAR MEMBERS」開始

- 2002 ▶公共料金決済サービス開始
▶「JCB LINDA」発行開始

- 2004 ▶インターネット本人認証サービス「J/Secure™」本格展開開始
▶EMVCo, LLCに出資および参画

- 2005 ▶(株)ジェーシービー北海道合併
▶汎用非接触決済サービス「QUICPay」本格展開開始



QUICPayカード

- ▶中国の中国銀行、上海銀行と提携、同国でのカード発行開始
▶オリックス(株)と包括的業務提携
▶情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)適合性評価制度およびBS7799(英国規格)の認証を取得

- 2006 ▶シティカードジャパン(株)と国内における「ダイナースクラブ」包括的加盟店事業について提携
▶(株)ジェイティービーとの包括的業務提携および(株)J&J事業創造、(株)JCBトラベル、(株)J&Jギフト設立
▶Discover Financial Servicesと日米両国における双方の加盟店ネットワークおよび国内のATMネットワーク開放について契約締結

- 2007 ▶オンラインショッピング優待サイト「Oki Doki ランド」開設
▶グローバル非接触決済プログラム「J/Speedy™」(現「JCBのタッチ決済」)展開開始

- 2008 ▶ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)とマーケティング・アライアンス契約および提携カード契約締結
▶新システム〈JENIUS〉稼働開始

- 2009 ▶韓国に現地法人設立
▶海外会員数500万人突破
▶「JCB ORIGINALシリーズ」発行開始

- 2010 ▶「JCBゴールド ザ・プレミア」発行開始
▶中国に現地法人設立
▶中国銀聯との国内における銀聯カードの加盟店業務について契約締結

- 2011 ▶国内初のATMによるICクレジットカード暗証番号変更サービス開始
▶海外会員数1,000万人突破
▶インドネシアに現地法人設立

- 2012 ▶「公益信託JCB東日本大震災に負けない子どもたちの未来を応援する奨学基金」設立

- 2013 ▶「JCBプリバイドカード」(現「JCBプレモカード」)発行開始
▶JCB初のデビットカードを台湾で発行開始

- 2014 ▶ロシアに現地法人設立
▶JCB鳥取ソリューションセンター開設((株)JCBエクスエ設立)
▶ラオスのPhongsavanh Bankと提携、同国でカード発行開始
▶バングラデシュのPrime Bankと提携、同国でカード発行開始
▶国内初のJCBブランドのデビットカード発行

- 2015 ▶ロシアのGazprombank、Sviaz-Bankと提携、同国でカード発行開始
▶海外会員数2,000万人突破
▶ブランドメッセージ「世界にひとつ。あなたにひとつ。」制定
▶国内初のJCBブランドのプリバイドカード発行開始
▶「地方創生支援室」開設
▶アメリカ・シリコンバレーに「Silicon Valley Office」開設

- 2016 ▶パキスタンのBank of Khyberと提携、同国でカード発行開始
▶新たな支払い方法「ショッピングスキップ払い」サービスを開始
▶ミャンマーのAyeeyarwady Bankと提携、同国でカード発行開始
▶Apple Payのサービス開始
※Apple Payは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

- ▶モンゴルのState Bankと提携、同国でカード発行開始

- 2017 ▶インドに現地法人設立
▶ビッグデータを活用した消費統計「JCB消費NOW」の提供を開始

- 2018 ▶Google Pay™ への対応開始
※Google Pay は Google LLC の商標です。

- ▶QUICPayユーザー数1,000万人突破
▶カンボジアのACLEDA Bank Plc.と提携、同国でカード発行開始

- 2019 ▶QR／バーコード決済スキーム「Smart Code」を提供開始
▶海外会員数3,000万人突破
▶国内会員数1億人突破
▶インドの決済公社と提携、同国でカード発行開始
▶スリランカのLankaClearと提携、同国でカード発行開始

- 2020 ▶サウジアラビアに現地法人設立

- 2021 ▶ネットプロテクションズホールディングスと業務提携
▶国内公共交通機関で初のJCBのタッチ決済(JCBコンタクトレス)利用開始
▶「JCB ORIGINALシリーズ」発行開始以来初のリニューアル
▶QUICPayユーザー数2,000万人突破

- 2022 ▶マレーシアのフィンテック企業Soft Spaceと業務提携
▶デジタルガレージと業務提携
▶モバイル即時入会サービスを開始
▶渋谷区デジタル地域通貨事業へNFCタグを提供
▶不正取引情報WEB連携サービス「MATTE」を本格リリース
▶JCBナンバーレスカードの発行を開始
▶デジタルガレージとB2B向け決済サービスを開始

- 2023 ▶QR／バーコード決済「MyJCB Pay」をリリース
▶バイオマス素材のカードの発行を開始
▶グローバルネットワークサービスと業務提携
▶OLTAと業務提携
▶「JCB カード S」発行開始

- 2024 ▶ログシスと業務提携
▶Smart Code利用可能店舗、100万カ所突破